

# クリーンセンター（焼却施設）の見学コースを紹介！

刈谷知立環境組合では、ごみ処理施設への理解を深めてもらうため、施設見学を行っています。

クリーンセンター（焼却施設）の見学コース（場所）は、以下のとおりです。（見学人数が多い場合は、順番を変更してご案内することがあります。）

※工場棟内のいくつかの場所に、設備の説明をするための掲示板を設置しています。クイズ形式で、クリーンセンターの学習を行うことができます。

## ① 研修室（見学スタート地点）

クリーンセンターに到着後、管理棟の正面玄関から入場し、リサイクルプラザを通り、連絡通路を渡り工場棟へのご案内します。

工場棟の4階にある研修室がスタート地点になります。



## ② プラットホーム

集めたごみを、ごみピットに投入する場所です。

5つの投入扉（場所）があり、家庭のごみは、1番と2番の場所でごみを投入します。3番から5番は、収集車などがごみを投入する場所です。出入り口には自動扉やエアカーテン（空気の壁）があり、臭いが外にもれないようにしています。

また、クリーンセンターの模型（旧クリーンセンター）を展示しているほか、大型モニターで働く人々の紹介をしています。



全体で約70人が  
働いているっぴ



### ③ ごみピット

プラットホームから投入されたごみを貯める場所です。刈谷市と知立市のごみを約1週間分貯めることができます。



### ④ 中央制御室

クリーンセンターには多くの機械設備があり、それらをまとめて集中管理している場所です。

24時間365日、交代しながら勤務し、施設に問題がないかなどチェックしています。



### ⑤ クレーン操作室

ごみピットに貯められたごみを、焼却炉に投入するためのクレーンを操作する場所です。

クレーンは、一度に約3.2トンのごみをつかむことができます。



クレーンの大きさに  
びっくりするかも

### ⑥ 焼却炉

ごみを燃やすための設備が焼却炉です。

約850度以上の高温でごみを燃やすことで、ダイオキシン類など有害物質が出ないようにしています。



⑦ はつでんき  
発電機

ごみを燃やした熱で蒸気をつくり、発電を行っています。

最大6,400kwの発電が可能で、これは一般家庭の約5,500世帯が使用する電力量と同じです。



⑧ けんしゅうしつ (しゅうりょう)  
研修室 (見学終了)

研修室に戻り、施設見学は終了です。

最後に、質問を受け付けます。



<クリーンセンター>



ご来場をお待ちしております

